

【2019夏のインターンシップ 10日間コース】～取材コース～

日付	項目	学生振り返り
1日目 8/19(月)	オリエンテーション／事前研修(1) ・アイスブレイク ・自己分析(レゴ® シリアスプレイ®) ・キャリア意識形成	・レゴを使った研修を受けてみて、同じテーマなのに、考え方や捉え方、表現方法は十人十色だと実感しました。実際に、手を動かして作品を作る過程で想像が広がったり、想定していなかった記憶がよみがえったりして頭の中だけで考えて文章に起こす自己分析との違いを感じました。 ・普通に自己分析をする場合よりも説明しやすく、わかりやすかった。 ・自己分析がとても新鮮。自分の考えをレゴを通して表現することは楽しかったけれど、それを言葉にする作業が難しかった。 ・上司などの上下関係に縛られることなく、発言することができる。普段話に入らないような学生も疑問を質問していて驚きました。普段の自己分析は一人で言うけれど、レゴは複数人で行うため、他社の意見を知ることができる。これを機に、自分の考えを相手に押し付けることなく、相手の考えを尊重し、人間関係を向上していきたい。 ・無意識にレゴを作って、それに意味を後付けすることが新鮮。自分の考えを言おうと思っても、うまく言葉にできなかったりしてしまうけれど、レゴというひとくッションを置くことでできたレゴを説明することですごく言いやすくなったと感じた。
2日目 8/20(火)	事前研修(2) ・「企業図鑑®」について(概要を理解、取材方法、記事作成、取材体験、ビジネスマナーほか) ・取材レクチャー	・就活するには優先順位をつけなければならないという話があり、今の私は正直、明確な優先順位をつけることができません。就活は相手についても自分についても「知る」ことが絶対条件と痛感しました。 ・インターンの心構えと企業の選び方など詳しく教えていただいた。企業を選ぶ前に、企業を知ることが大切。まず、興味のある業界を見つける必要があることを教わったので、業界について深い理解をしていきたい。
3日目 8/21(水)	取材準備(1) ・企業リサーチ ・業界リサーチ ・企業への日程調整	・取材体験は、話を聞くことも文にすることも難しかった。 ・ちゃんと取材できるかと不安になっていました。取材先で何を聞くのか、一緒に行くメンバーと話し合いをするうちに、だんだん実感がわいていきました。取材や記事を書いてみて、こもうちよと聞きかたかったとか、上手く書けてないなとうまくいかなかったところが多かった。 ・質問の検討について、どれほど多く、深くできるか不安だったが、出してみたら意外と多くの質問ができそうだと感じた。 インタビュー、取材、記事生成の練習について、とても緊張した。インタビューするのも、受けるのも難しい。文章として組み替えるのが難しい。
4日目 8/22(木)	取材準備(2) ・取材内容計画 ・取材日程確認 ・役割分担 ・取材シミュレーション ・事前作業 ・企業への事前打ち合わせ	・記事に関して、昨日よりもかなり良くなってうれしい。 ・取材、記事書きは、昨日の反省点を踏まえて意識して書きました。昨日書いたから今日はいま書けるかと思っていましたが、やはり難しかったです。 ・取材先にアポイントの電話をした。電話応対をすることは、私生活など以外にすることがないため、難しく相手の話す内容もあまりうまく聞くことができませんでした。 ・質問したいことを考えるのはとても楽しかったのですが、実際に質問するということ想像すると、とても緊張します。 ・企業新聞の書き方や表現の工夫を教わって、驚いたことが数多くありました。マイナスイメージのある情報は出さないというテクニック、伝えたいことは同じでも出す順番によってイメージが変わるなど、この手法は履歴書やES、面接でも使っていきたいと思えます。
5日目 8/23(金)	取材(1) ・新聞取材(人物紹介＝経営者、幹部、若手社員 or 仕事紹介＝仕事体験) ・新聞のポイント決め ・取材レポートの内容決め	・実際に取材すると、2日間練習、準備したのに、やはり緊張と不安がありました。初めての名刺交換、取材、メモ、写真撮り。とても新鮮でした。いざ自分が取材すると、緊張で頭が真っ白になることが多かったです。この取材を将来の糧にしていきたいです。 ・取材が終わった人たちが帰って来て何をされたかを細かく聞いて、想像していた通りにはならないということが分かったので、それを踏まえて取材企業に行こうと思いました。 ・取材は、社長とチーフを相手に質問をしたのですが、うまく言葉が出てこなかったのが心残りでした。社長は、笑顔で素敵、また革新的だったり、社員のことを強く考えていたりとい社長、いい企業と感じました。 ・記事を書く量について、少ない量で濃いことを書く大変さ、難しさを感じました。ただ、難しい分、やり遂げられた時の達成感は大いと思うので精一杯取り組みたいと思います。 ・経験したことがないものを想定して考えるのはとても難しい事でした。
6日目 8/26(月)	取材(2) ・新聞取材(人物紹介＝経営者、幹部、若手社員 or 仕事紹介＝仕事体験) ・新聞のポイント決め ・取材レポートの内容決め	・記事を作成したところ、他人がしゃべった内容を簡潔にわかりやすくまとめる難しさを痛感した。また、文章の校正をし合う時に説明の有無がなくていい人もいれないとわかりにくいと言っている人、人の感覚の違いを実感した。できるだけ多くの人にわかりやすく伝えられる記事を書けるよう努めたい。 ・取材準備で、聞く質問を整理する際、どのように聞くのか、どの質問が一番聞きたいかを実際にシミュレーションすることでより具体的に考えることができました。また、未来予想図を作る際、前回作成した要領で作るとうまくいかず業界に合わせて作り方を変えないといけない。多くの人に会社を知ってもらいたい、そのための記事を書きたい。
7日目 8/27(火)	WEB教材「企業図鑑®企業ページ」作成(1) ・新聞取材(人物紹介＝経営者、幹部、若手社員 or 仕事紹介＝仕事体験) ・新聞のポイント決め ・取材レポートの内容決め	・取材をして、これほど大きな将来性や夢があることが意外だったが、話を聞くうちに自分も関わりたいと思えてきた。会社を作る未来が見たい。多くの人に会社を知ってもらいたい、そのための記事を書きたい。 ・取材した企業のリード文やキャプションが1～2文しか書かないため、記事を書くよりも難しかった。 ・取材して、とても緊張しましたが、新鮮な気持ちでいい経験になりました。企業の社長に会うことができるということもなかなかないので、インターンシップに参加してよかったと改めて思いました。 ・取材がとても刺激的で、社長より様々な商品の説明をいただいて取材を差し引いても面白かったです。座談会前後で社員の方とマンツーマンで話す機会があり、自分なりに「会話のキャッチボール」にしようと思いましたが、とても楽しかったです。 ・まとめ役として行ったのですが、あまりうまくいきませんでした。全員の作業を把握して割り振るのはとても難しいことだと改めて実感しました。また、記事作成に予想以上に時間がかかってしまい焦りました。
8日目 8/28(水)	WEB教材「企業図鑑®企業ページ」作成(2) 校正記事を再校正 データグラフデータ決め 取材レポート作成 未来予想図(業界・会社)作成	・記事添削の修正箇所を納得のいくまで修正をしました。基本の5W1Hが抜けていると指摘され、自分の書いた文章を読み返してみると、確かにかけていると気づきました。基本を忘れず、うまくまとめたいです。未来予想図は、自由に書けるので楽しかったです。 ・記事の書き直し、意外に修正が少ないと感じたのでうれしい。 ・添削してもらった文章は、思っていた以上に足りない部分が多く、伝えられる文章を書くことはとても難しいと改めて思いました。
9日目 8/29(木)	WEB教材「企業図鑑®企業ページ」作成(3) 校正記事を再校正 データグラフデータ決め 取材レポート作成 未来予想図(業界・会社)作成 カテゴリー決め	・記事の作成は、内容が決まってもそれをどう伝えるかがすごく難しかったです。パソコンに入力する作業や、記事作成に思ったより時間がかかったため、余裕を持ってスケジュールを作るべきだと思いました。 ・自分がつくった文章と校正してもらった文章を比較したところ、カギカッコの有無や文末が変わるだけでわかりやすさも格段に変わることがわかりました。内容は同じでも読みやすさが違うので驚きました。 ・今回の参加で、多くのことが学べたと思う。これはとてもよかった。 ・参加した学生メンバーたちがみな話を聞いてくれアドバイスしてくれるので相談しやすく頼れるお兄さんお姉さんがいる感覚でした。 ・とても充実した2週間になったと思います。様々なことを学び発表し合ったりしたことがとても記憶に残りました。今回のことを活かして就職のことについて考えていきたいと思えます。 ・10日間を通して、自分のできること、足りない部分がありました。取材では準備した点はできたと思いますが、アドリブがまったく効きませんでした。アドリブは経験値と直結すると思うので、距離を稼ぎたいと思えます。 ・朝礼に参加して、いい体験ができました。面白く、社員全員のモチベーションが上がると思えます。 ・記事完成のために、細かいところを直すのは予想以上に根気がいる仕事でした。今回のメンバーで作業するのが最後だと思うと少し寂しいですがとてもいい経験になりました。
10日目 8/30(金)	事後研修 インターンシップレポートの作成 事後アンケート(成長ベスト3など) キャリアビジョン	

2019.9.25

インターンシップ後、「レゴシリアスプレイ」について参加学生よりコメントいただきました。 ※一部抜粋

・一番最初にレゴシリアスプレイを体験した時は、レゴを使うだけでこんなに相手に緊張せずに言葉を伝えられるのか・・・と驚きました。それに、メンバーとの距離が少し縮まった気がします。
・一つ、この企業でインターンシップをして驚いたことがありました。それは、レゴブロックのワークショップです。レゴブロックは小さいところに遊んだことがあるのもあり、幼い子供が遊ぶだけのものという認識がありました。しかし、レゴブロックを使って自由な発想を表現することができると知り感動しました。
・レゴシリアスプレイ、モノづくりを通して、何もなしどころから作られたものを説明して、自己アピール、自己主張できると思います。そして、人それぞれ考えや経験、育った環境が違うので、他人のことを理解し、尊重するべきだと強く思います。先生、ありがとうございました。

2019.9.26